

ARTS for HOPE

宮城チーム活動報告書 2014年7月30日

仙台・東長町児童館「ハッピーペインティング」

いかにも「夏」といったお天気の中、東長町児童館の水鉄砲アート準備ははじまりました。児童館の脇のフェンスの両面にぐるりと白い不織布を巡らせ、絵の具を紙皿にほどよく溶かしてゆきます。

「なんだ、なにがはじまるんだ？」ってな感じで、子どもたちも覗いています。

準備も整って、児童館内で集合した子どもたちは、外へとやってきます。

はじめは、絵の具で思いっきり描く！描く！描く！そして、お待ちかねの水鉄砲タイムがやってきます。

フェンスの位置がちょうどいいのか、ほどよく風もやってきて、めちゃくちゃ暑すぎることもなく、いい感じです。グループの別れ方で、片面は赤っぽい暖色で明るい感じ。学校の敷地内、草の上で描いていたもう片面は、寒色のブルーっぽい画面となってゆきます。

手のひらを押し付けるだけでなく、垂直画面なのに、足の裏に絵の具をつけて、足跡を残す子もいました。

水鉄砲だけでなく、児童館にあった、ぞうさんのかたちのジョーロも大活躍。

そのジョーロの水を入れる部分に口を押し付けて、空気を送り、シャワーのように水を出す。そんな技で、絵の具を流しはじめる男の子。両手で水鉄砲を使って、画面に水攻撃を与えている子もありました。絵の具の紙皿のふちの丸い部分を押し付けて、模様をつける方法をみつけた女の子。ひとところをグルグルと延々塗り続け「花火〜！」とはしゃぐ女の子たち。せっかく塗った色を、いかにきれいに落とすか。そんなことに夢中になっているグループもありましたね。暑い夏。水、水、水が大好きな子どもたちのアートが出来上がった、そんな1時間のワークショップでした。

